

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社
 コード番号 7991 URL <https://www.mamiya-op.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 正夫
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 浩一郎 TEL 03-6273-7360
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	28,504	43.0	6,033	64.1	6,400	51.6	4,384	49.0
2024年3月期第3四半期	19,927	95.2	3,676	229.7	4,220	191.5	2,943	115.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 4,319百万円 (174.9%) 2024年3月期第3四半期 1,571百万円 (△40.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	426.21	424.01
2024年3月期第3四半期	338.23	336.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	41,189	24,702	59.8	2,386.13
2024年3月期	38,470	20,593	53.4	2,065.74

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 24,645百万円 2024年3月期 20,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	20.5	6,400	32.3	6,800	23.9	4,600	19.4	445.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	10,508,670株	2024年3月期	10,123,270株
2025年3月期3Q	179,865株	2024年3月期	179,412株
2025年3月期3Q	10,286,720株	2024年3月期3Q	8,701,864株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」、P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費に一部足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。一方で、海外景気の下振れによる我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下で当社グループは、システムソリューション事業の強化を進めつつ、グループの経営資源を有効に活用し、安定的かつ持続的な成長を実現するため、高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供や、顧客の抱える課題に対するソリューションの提案に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、電子機器事業セグメントにおけるスマート遊技機用ユニット及び新紙幣対応の紙幣識別機の入れ替え需要が第2四半期に続き当初計画を上回り、業績が伸張いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は285億4百万円（前年同期比43.0%増）、営業利益は60億33百万円（前年同期比64.1%増）、経常利益は64億円（前年同期比51.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億84百万円（前年同期比49.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(電子機器事業セグメント)

アミューズメント関連製品の主要な市場であるパチンコ・パチスロ関連市場は、全日遊連が発表した「組合員加盟店舗の実態調査」結果によると、2024年10月末日現在の全日遊連加盟パチンコホール店舗数は6,042店舗となり、減少傾向が続いております。一方で、スマート遊技機の設置店舗数及び設置台数は順調に伸びており、スマート遊技機用ユニットの需要が好調に推移したことに加え、新紙幣対応の紙幣識別機への入れ替え需要も相俟って、業績は続伸いたしました。

モバイルオーダーシステム「CHUUMO」につきましては、顧客獲得のための施策の見直し及び展示会出展への注力、販売チャネルや営業力の強化を行いました。また、液晶小型券売機につきましては、中小企業省力化投資補助金の対象製品に登録されたことによる販売の促進やインバウンド需要を取り込むための観光地などにおける営業の強化、新たに事業展開をしたリユース品事業の販売強化を実施したことにより、堅調に推移いたしました。

自律走行システム「I-GINS」につきましては、「I-GINS」搭載車両の販売に加え、顧客所有の芝刈り車両への「I-GINS」後付けによる自律走行車両化といった戦略的な営業活動の実践、保守メンテナンス体制の確立、そして自律走行システム搭載車両の共同開発にも取り組んだことにより、堅調に推移いたしました。

マミヤITソリューションズにつきましては、キャッシュレス対応に関する開発やモバイルオーダーシステム開発の案件において開発遅延等の影響により、低調に推移いたしました。

ICカードリーダーライタにつきましては、リーダーライタ入替需要や、油槽所システムの新ICカード需要が増加し、ICカードの発行枚数は回復基調で推移いたしました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は228億87百万円（前年同期比40.7%増）、営業利益は52億56百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

(スポーツ事業セグメント)

主力製品の「LIN-Q」を世界統一のブランドと位置付け、認知度の更なる向上を目指し、国内外での販促活動に注力してまいりました。

国内におきましては、ドライバー用の「ATTAS RX SUNRISE RED」や「LIN-Q WHITE EX」が市場で評価を獲得するとともに、YouTubeをはじめとするSNSや雑誌広告、地上波テレビCM放映などを使ったブランド認知度の向上による販売拡大施策を進め、需要の回復傾向もあり売上高は堅調に推移いたしました。円安による原材料高騰の影響を受け、利益は低調に推移いたしました。

海外におきましては、大手クラブメーカーへのOEM受注販売並びに棒高跳び用ボールの販売が堅調に推移いたしました。原材料等の高騰による原価上昇の影響や販促活動の強化により、利益は低調に推移いたしました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は41億21百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は20百万円（前年同期は1億12百万円の営業損失）となりました。

(不動産事業セグメント)

不動産事業セグメントにおきましては、収益用賃貸物件の建替えによる売上減少を、販売用不動産の売却収益や大手調剤薬局との協業によるヴィレッジ型医療モールをはじめとした賃貸物件の収益で補うとともに、外部コンサルタントを通じた情報収集に加え、新たな収益不動産の購入検討や仲介ビジネスに取り組んでまいりました。

この結果、不動産事業セグメントの売上高は14億97百万円（前年同期は1億19百万円）、営業利益は7億57百万円（前年同期は15百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末における流動資産は274億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億78百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品が6億55百万円、原材料及び貯蔵品が7億51百万円、販売用不動産が6億29百万円減少したものの、現金及び預金が44億92百万円、受取手形及び売掛金が10億22百万円増加したことによるものであります。固定資産は137億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億15百万円、投資有価証券が57百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は411億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億18百万円増加いたしました。

(負債)

当四半期連結会計期間末における流動負債は99億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億39百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が3億21百万円、未払法人税等が4億95百万円減少したことによるものであります。固定負債は65億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億51百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が5億38百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は164億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億90百万円減少いたしました。

(純資産)

当四半期連結会計期間末における純資産合計は247億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億9百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益43億84百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は53.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては2025年2月6日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、公表した内容から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,200,675	12,693,440
受取手形及び売掛金	5,204,653	6,226,764
電子記録債権	2,121,650	1,638,587
商品及び製品	2,532,926	1,877,539
仕掛品	860,495	993,865
原材料及び貯蔵品	4,185,829	3,433,979
販売用不動産	895,301	265,659
その他	536,459	287,510
貸倒引当金	△3,314	△3,856
流動資産合計	24,534,679	27,413,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,377,719	1,471,623
機械装置及び運搬具(純額)	350,735	347,610
工具、器具及び備品(純額)	185,036	156,507
土地	3,263,858	3,263,858
リース資産(純額)	281,845	256,803
建設仮勘定	242,772	89,569
有形固定資産合計	5,701,966	5,585,972
無形固定資産		
その他	262,012	291,799
無形固定資産合計	262,012	291,799
投資その他の資産		
投資有価証券	5,866,212	5,808,729
長期貸付金	679,671	671,198
出資金	959,783	976,606
繰延税金資産	7,953	15,997
その他	466,640	433,820
貸倒引当金	△8,525	△8,525
投資その他の資産合計	7,971,737	7,897,827
固定資産合計	13,935,715	13,775,600
資産合計	38,470,395	41,189,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,790,490	2,969,209
電子記録債務	2,923,597	2,602,354
短期借入金	845,000	636,000
1年内返済予定の長期借入金	1,564,217	1,553,566
未払法人税等	1,620,576	1,125,383
賞与引当金	100,142	60,725
その他	1,040,504	997,962
流動負債合計	10,884,530	9,945,201
固定負債		
社債	900,000	900,000
長期借入金	4,245,171	3,707,022
繰延税金負債	524,349	638,851
役員退職慰労引当金	41,350	44,174
退職給付に係る負債	1,006,127	997,259
その他	275,403	254,032
固定負債合計	6,992,401	6,541,340
負債合計	17,876,931	16,486,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534,381	4,804,323
資本剰余金	760,744	1,030,685
利益剰余金	13,465,861	17,096,157
自己株式	△258,442	△259,095
株主資本合計	18,502,545	22,672,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,027,073	904,987
繰延ヘッジ損益	10,761	11,804
為替換算調整勘定	1,001,054	1,057,006
その他の包括利益累計額合計	2,038,890	1,973,798
新株予約権	40,030	44,699
非支配株主持分	11,997	11,980
純資産合計	20,593,463	24,702,547
負債純資産合計	38,470,395	41,189,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	19,927,191	28,504,932
売上原価	13,580,067	19,400,692
売上総利益	6,347,123	9,104,239
販売費及び一般管理費	2,670,852	3,070,674
営業利益	3,676,271	6,033,565
営業外収益		
受取利息	16,406	34,058
受取配当金	49,103	111,854
為替差益	71,632	—
出資金運用益	202,481	126,572
持分法による投資利益	211,861	159,938
その他	47,498	32,517
営業外収益合計	598,984	464,941
営業外費用		
支払利息	43,777	56,868
為替差損	—	33,768
その他	10,714	7,394
営業外費用合計	54,492	98,031
経常利益	4,220,764	6,400,475
特別利益		
固定資産売却益	18,821	198
特別利益合計	18,821	198
特別損失		
固定資産除売却損	307	22,047
減損損失	58,361	—
投資有価証券評価損	5,999	—
特別損失合計	64,668	22,047
税金等調整前四半期純利益	4,174,917	6,378,625
法人税、住民税及び事業税	1,084,783	1,819,206
法人税等調整額	147,222	175,112
法人税等合計	1,232,005	1,994,318
四半期純利益	2,942,911	4,384,306
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△333	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,943,245	4,384,324

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,942,911	4,384,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,653,395	△145,869
繰延ヘッジ損益	35,230	1,042
為替換算調整勘定	287,405	55,951
持分法適用会社に対する持分相当額	△40,809	23,783
その他の包括利益合計	△1,371,569	△65,092
四半期包括利益	1,571,342	4,319,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,571,676	4,319,232
非支配株主に係る四半期包括利益	△333	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,270,675	3,537,751	118,765	19,927,191	—	19,927,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	46	342	568	△568	—
計	16,270,855	3,537,797	119,107	19,927,759	△568	19,927,191
セグメント利益又は損失(△)	3,772,994	△112,173	15,450	3,676,271	—	3,676,271

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては58,361千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,887,199	4,121,532	1,496,200	28,504,932	—	28,504,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	131	1,606	1,917	△1,917	—
計	22,887,379	4,121,663	1,497,806	28,506,849	△1,917	28,504,932
セグメント利益	5,256,027	20,055	757,481	6,033,565	—	6,033,565

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ269,941千円増加いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が4,804,323千円、資本剰余金が1,030,685千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	204,788千円	278,950千円